

デジタルアーカイブジャパン・アワードの創設について

1 趣旨

デジタル化の推進、コンテンツのオープン化の推進、デジタル技術を用いた新しいサービスの提供等、デジタルアーカイブを日常にする取組を広く社会に紹介し、その活用の機運を盛り上げることを目的として、デジタルアーカイブジャパン推進委員会及び実務者検討委員会による表彰制度「デジタルアーカイブジャパン・アワード」を創設します。

2 受賞候補者案と選考手続

初回は、表彰対象範囲を限定することとし、表彰する活動は「ジャパンサーチ・アクションプラン 2021-2025」に記載のある活動(アクション)に関する活躍や貢献とし、表彰する対象はジャパンサーチの連携機関／活用者とします。

賞の名称及び受賞候補者について、実務者検討委員会及びワーキンググループ構成員から事前に募集し、賞の名称及び候補者の一覧（別添参照）を作成しました¹。

賞の名称及び受賞者は、実務者検討委員会で承認を得た選考委員会で決定することとします。

なお、来年度以降も継続して表彰に取り組むこととし、対象については改めて検討を行っていくこととします。

3 選考委員会の設置

○委員会構成

推薦者及び被推薦機関の関係者を除いた実務者検討委員会構成員から選出し、別紙のとおり選考委員会を設置します。

○委員会日程

- ・日時 令和4年7月20日（水）
- ・会議形式 Web 会議システムによるオンライン開催
- ・議事 賞の名称及び受賞者の決定

¹ 構成員からの表彰候補者の推薦に当たっては、ジャパンサーチ上の連携機関一覧ページに掲載されているところのほか、つなぎ役経由でデータを提供している機関も対象としてよいこと、また、活用者については、利活用事例のページ（<https://jpsearch.go.jp/usecase>）の掲載有無を問わず、ジャパンサーチと関連した取組を行っていれば、対象に含めてよいとした。

(別紙)

デジタルアーカイブジャパン・アワード選考委員会

委員長	国立情報学研究所名誉教授	高野 明彦
委員	一橋大学大学院法学研究科准教授	生貝 直人
委員	知的資源イニシアティブ理事	山崎 博樹
委員	筑波大学名誉教授	杉本 重雄
委員	東京大学大学院情報学環教授	渡邊 英徳
委員	国立歴史民俗博物館研究部准教授	後藤 真
委員	人文学オープンデータ共同利用センター センター長	北本 朝展